

大会の参加に当たって

- (1) 各所属の学校が参加を許可しない場合は、大会への参加を認めない。
- (2) 入館前7日間において、以下の事項に該当する場合は、入館できない。出発前に入館者全員に該当しないか確認しておくこと。
 - ・ 平熱を超える発熱
 - ・ 咳（せき）、のどの痛みなどの風邪の症状
 - ・ だるさ（倦怠感）息苦しさ（呼吸困難）
 - ・ 嗅覚や味覚の異常
 - ・ 体が重たく感じる、疲れやすい等の症状
 - ・ 新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触がある場合
- (3) 入館前14日間において、政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航または当該在住者との濃厚接触がある場合
- (4) 「健康観察表」を入館者全員が持参しているか確認すること。提出できない場合は、入館できない。宿泊を伴う場合は、当日の検温ができるように各自の体温計を持参しておくこと。
- (5) 厚生労働省から提供を受けている、新型コロナウイルス接触確認アプリ（COCOA）を活用できるよう準備する。COCOAを入れている場合は、電源をONにした上でBluetoothを有効にすること。
- (6) マスクを着用していない者は入館を認めない。館内では、泳ぐとき以外はマスクを着用すること。招集所内でもマスクを着用し、会話を控えること。入場準備の際は、マスクを外してもよい。招集所で外したマスクは、服のポケットか袋に入れること。また、紛失などに備えて予備のマスクを持参すること。
- (7) コーチは、練習時の大きな声での指示、ホイッスルの使用を控えること。レース・練習後のマスクをしていない選手との会話では、マスクに加えフェイスシールド、またはアイガード・ゴーグルを着用し、目からの飛沫感染も防ぐこと。
- (8) 入館から退館時までの全ての場面で、人との距離（2m以上）をとって行動すること。
- (9) レース終了後、マスクを着用してから移動すること。すぐにマスクを着用できない場合は、人との距離を十分に確保できる場所で呼吸を整えてからマスクを着用すること。
- (10) 唾や痰をプールサイドに吐かないこと（レース直前のスタート台付近や、プールでの練習時）。
- (11) 食事は、スタンド観客席で、人との距離を2m以上保ち単独で摂ること。
- (12) 会場までの交通機関内で、マスクの着用、人との距離、車内換気、会話などに留意すること。
- (13) 以下のものについては、会場に持ち込んではいない。
 - ・ チーム共有のドリンクサーバー（ドリンクディスペンサー）
 - ・ マッサージベッド（トレーナーズベッド）[但し、1部校のトレーナーブースを除く]、アイシングバス、トレーニングバイク等、使用するために設置場所を必要とするトレーニング、コンディショニング用具
 - ・ チームで共用するストレッチマット（ヨガマット）、ブルーシート、毛布（ブランケット）等の敷物、チューブ、バランスボール等の運動用具
（本項に記載した敷物と運動用具は、他者と共用せず、個人専用で使用する物は持ち込んでよい）
 - ・ メガホンおよびエアホーン等の鳴り物（スティックバルーンは除く）、横断幕（各校1枚の部旗は除く）、のぼり
 - ・ 練習時のパドル・コード類（使用時に他人の補助を要したり、柱や手すり等に引っ掛けたりする物）

新型コロナウイルス感染症拡大防止のための遵守事項

国や自治体、主催者や施設管理者が定める措置や指示に従わず安全を確保できないと判断した場合、その内容によって参加者に対する本注意事項の厳格化、当該者および所属する学校の出場取り消し、競技会を中止するなどの措置を取る。

出場選手の他、当日入場するチーム関係者全員が本資料に記す遵守事項に従い、行動すること。

1. 全体スケジュール

	7月22日 (1日目)	7月23日 (2日目)	7月24日 (3日目)	備 考
開 門	8:00	8:00	8:00	
マネージャー会議	8:20	8:20	8:20	地下1階ロビー3 (動線図参照) 5分前より受付開始 ※出場校は必ず参加すること
W-up	~9:15	~9:20~	~9:20	ダイビングプールを含む
予選競技開始	10:00	9:40	9:40	招集は通告にて案内
予選競技終了	11:45	11:56	11:26	
W-up (メインプール)	~12:45	~13:00~	~12:30	決勝出場者のみ使用可
決勝競技開始	13:00	13:15	12:45	招集は通告にて案内
決勝競技終了	17:05	16:43	16:49	
閉 門	17:50	17:30	18:15	

- ・ 1日目の9:30より、開会式を行う。
- ・ 昨年度の選手権獲得校および優勝校の代表者は優勝杯を持って、9:15に本部席に集合すること。
- ・ 3日目の全競技終了後、準備が整い次第、閉会式を行う。

計時員は下記の通りとする。1日目は9:40、2・3日目は9:20に記録室前に集合すること。

また、2日目の予選は、200m個人メドレー終了時点で必ず担当者を交替することとし、女子800m自由形および男子1500m自由形の担当者は、10:30までに記録室前に集合すること。

レーン	割り当て校	レーン	割り当て校
0レーン	立命館大学	5レーン	近畿大学
1レーン	大阪体育大学	6レーン	大阪公立大学
2レーン	関西大学	7レーン	同志社大学
3レーン	大阪大学	8レーン	びわこ成蹊スポーツ大学
4レーン	関西学院大学	9レーン	天理大学

2. 競技について

- (1) 本競技会は、2022年度(公財)日本水泳連盟競泳競技規則にのっとり実施する。
- (2) 競技は、男女別で予選は10レーン、タイムレース決勝・決勝は8レーンで、タイムスケジュール通りに実施する。
- (3) 女子800m自由形・男子1500m自由形はタイムレース決勝とし、最終組は決勝時間に行う。それ以外の個人種目は予選と決勝を行う。なお、申込選手が8名以下の種目は予選競技を行わず、直接決勝とする。
- (4) 決勝は、予選の結果、上位8名が出場できる。ただし、棄権者が出たときは、次点上位より順次出場権を与える。
- (5) 決勝の進出について、同記録で予定人員を超えた場合は、抽選で優先順位を決定する。
- (6) 補欠が同記録で複数いる場合は、抽選を行う。補欠は、2名とする。
- (7) 招集は、場内通告で案内する。案内があるまでは控え場所で待機すること。
ガウン(バスローブ)の着用は禁止する。必ず、ユニフォーム(ジャージ、シャツ)を着用すること。
- (8) 招集所で持ち物の確認を行う。プログラム掲載の商標規定を遵守すること。高校・スイミングなどの名称が入った物は使用できない。FINAマークが剥離している水着を着用する場合は、必ず事前にFINAマーク剥離届を記録室に提出し、審判長の許可をもらうこと。
- (9) リレー種目は、招集所で本人確認を行う。顔写真入の学生証もしくは公的証明書を持参すること。忘れた場合は、必ず事前に「選手証明書」を記録室に提出し、審判長の許可をもらうこと。提出する際は、選出している学連委員が同伴すること。

- (10) 予選・タイムレース決勝および予選を行わない決勝を棄権する場合は、所定の用紙に記入し、当該競技開始1時間前までに招集所に届け出ること。時間内に届け出をしなかった場合は、棄権料3,000円を徴収する。また、原則として、決勝を棄権することはできない。やむなく棄権する場合は、その予選競技終了後1時間以内に棄権料3,000円を添えて「決勝棄権届出用紙」を記録室へ届け出ること。棄権申告後、上訴審判の裁定により棄権が受理された場合は、繰り上げ選手の決定を行う。
- (11) 予選（午前中に行うタイムレース決勝を含む）はオーバーザトップ方式とする。泳ぎ終えた選手は次組スタート後、自レーンより退水すること。但し、背泳ぎは泳ぎ終えた選手から自レーンより退水すること。午後に行うタイムレース決勝・決勝（リレーを除く）は競技成立後、折返監察員の指示により第0レーン側のプール横から退水すること。脱衣カゴに入れた荷物は、ダイビングプールの0レーン側プールサイドで受け取ること。リレーは、泳ぎ終えた選手から自レーンより退水すること。
- (12) リレーオーダーは下記の時間までに記録室に提出すること。提出締切時間を過ぎた後は一切受け付けない。リレーオーダーは、本大会にエントリーした選手から構成すること。

月日	種目	提出締切時刻
7月22日	女子・男子4×100mフリーリレー	14:55
7月23日	女子・男子4×100mメドレーリレー	14:30
7月24日	女子4×50m, 女子・男子4×200mフリーリレー	14:00

3. 表彰・賞状について

- (1) 男女1部の1位から3位にメダルならびに賞状を授与し、表彰する。4位から8位に賞状を授与する。決勝競技終了後、速やかに表彰者待機場所で荷物を受け取り、ジャージを着用すること。
- (2) 男女2部・男子3部の1位から3位にメダルならびに賞状を、4位から8位に賞状を授与する。
- (3) 学校対抗得点の1位には優勝杯と賞状を授与し、表彰する。2位から8位に賞状を授与する。
- (4) 男女2部・男子3部のメダルと、全ての賞状の受け取りは、2階受付で行う。

4. プールの使用について

- (1) 選手は、プールサイドに出るまでマスクを常時着用しておくこと。
- (2) 自身の荷物は持参した袋にまとめて、プールサイドに設置した荷物台に置くことができる。なお、荷物台は次亜塩素酸を用いて定期的に消毒するが、色落ちなどが生じても当支部は責任を負わない。
- (3) 練習時に各レーン内で待機する場合、スタート練習で並ぶ場合も距離を保つこと。
- (4) 練習時の大きな声での指示は控えること。
- (5) ウォーミングアップにおける道具の使用は、ブルブイのみ許可する。持参者のみが使用し、共有しないこと。道具類の忘れ物に関しては、大会終了後に主催者が全て処分する。責任を持って各自で管理すること。
- (6) ダッシュレーンを除き、必ず足から入水すること。飛込みは禁止する。
- (7) メインプール
- ① 水深は以下の通りとし、水温は27.5℃に設定する。
朝の練習時：両端（各15m）1.6m、中央2.0m
競技開始後：2.0m
- ② レーン指定は次の通りとする。
- 1・2日目** 0レーン：ダッシュレーン（ターン側からの一方通行とする）
 1レーン：ペースレーン（クロールスイムのみ使用可）
 2～7レーン：フリーレーン
 8～9レーン：ダッシュレーン ※利用人数によりレーン数を拡大する
- 3日目** 0レーン：ダッシュレーン（ターン側からの一方通行とする）
 1～7レーン：フリーレーン
 8～9レーン：ダッシュレーン ※利用人数によりレーン数を拡大する

- ③ 公式スタート練習は行わない。
- ④ ホイッスルは、電子ホイッスルに限り、使用可とする。
- ⑤ 昼休みの練習は、決勝競技出場者のみとする。
- (8) ダイビングプール
 - ① 水深は5.0m、水温は27.5°Cに設定する。
 - ② メインプール側の半面のみ使用可とする。プールサイドの使用・通行禁止区域の案内を守ること。
 - ③ 以下の時間帯を除いて、常時使用可とする。競技終了後に利用する場合は、閉館時間までに退場すること。
 - 1, 2日目 W-up 終了時刻から予選競技開始まで
 - 3日目 W-up 終了時刻から予選競技開始まで、男女4×200mリレー表彰終了から閉会式終了まで
 - ④ 競技中はクールダウン専用とする。
 - ⑤ ホイッスルは、電子ホイッスルも含めて一切禁止する。

5. 館の使用について

- (1) 本大会は無観客とする。選手・チームスタッフ以外は入館できない。また、会場内・アリーナ内では必ず、所属校のユニフォームを着用すること。高校名・スイミング名等の入ったものの使用は固く禁ずる。
- (2) 場所取り入場は行わない。
 - ① 観客席を控え場所とする（割り振りは当支部ホームページ参照）。指定された場所以外の館内、公園敷地内（駐車場を含む）での場所取りは全て禁止する。
 - ② マネージャー席を含めて、観客席は1席以上空けて着席すること。他人と隣り合う席に荷物は置いてよい。ビデオ席を除いて、観客席および通路での立ち見を禁止する。
 - ③ 観客席下のフリースペースにストレッチ・ドライランドを行えるストレッチエリアを設ける。ストレッチエリア使用時には、各自で消毒等を行うこと。
 - ④ 観客席への置き荷物を認めるが、清掃作業の妨げにならないよう、1ヶ所にまとめておくこと。
 - ⑤ 利用した場所は、各学校の責任において消毒してから帰宅すること（受付に消毒スプレーを準備する）。なお、更衣室、招集所、出入口のドアなど共用部は大会主催者が消毒を行う。
- (4) 入退館は、2階入口を使用すること。
- (5) 入館の際はマスクを着用し、健康観察票を手に持つておくこと。また、手指のアルコール消毒に支障をきたさないよう、手持ちの荷物は最小限に止めること。入館時の検温で37.5°C以上あった場合は、別の場所で再度検温する。再度37.5°C以上あった場合は入場できない。
- (6) 入館後の一時退館・再入館を認めるが、その場合は退館時に【再入館票】を必ず受け取ること。その後、再入館する際は、【再入館票】を提示し、再度手指のアルコール消毒を受けること。なお、【再入館票】の提示がない場合は、再度、健康観察票の提出を求めることがある。
- (7) 「健康観察票」の提出について
 - ① 参加者は、入館2週間前から毎日体温を測定すること。
 - ② 当支部ホームページからダウンロードした「健康観察票」に、事前に必要事項を記入すること。
 - ③ 「健康観察票」は、入場日ごとに提出し、返却しない。
(最大で3枚準備し、必要に応じて記載内容を写真などで記録しておくこと)
- (8) 観客席の最前列は、使用禁止とする。荷物置場としても使用しないこと。
- (9) 「競技会場における商業ロゴマーク等についての取り扱い規定」を厳守すること。
- (10) 入館から退館までの全ての場面で、人との距離（できるだけ2m以上）をとって行動すること。選手控え場所・観客席で、人との距離・座席間の距離を保つこと。指定された場所以外は、一切使用しないこと。
- (11) 会場内にゴミ箱は設置しない。ゴミは各自で管理し、必ず持ち帰ること。
- (12) 会場内でのテープ類の使用は、養生テープのみ許可する。
- (13) 会場内の柵、手摺等に、濡れている物を置くこと、吊るすことは禁止する。
- (14) 新型コロナウイルス感染対策の観点から、「大会の参加に当たって」(13)に該当しない物であっても、持ち込みおよび使用は不適切と判断した物は、その使用を禁止し、翌日以降は持ち込みを認めない場合がある。

- (15) 7. トレーナー活動に定める内容を除いて、館内、公園敷地内（駐車場を含む）におけるチームや個人選手付トレーナーの活動に関して、用手接触を伴うマッサージやパートナーストレッチなどは禁止する。
- (16) 観客席下のストレッチエリアは、同時に使用できるのは1区画につき1人とする。譲り合って使用すること。また、ストレッチ・ドライランド以外の目的（食事や睡眠など）での使用や、敷物や荷物等での占有は禁止する。敷物や運動用具等は、「大会の参加に当たって」(13)で定めた”持ち込みできないもの”に該当しないものを準備すること。指示に従わない場合、当該チームの使用を禁ずる、または開放を全面中止する。
- (17) 観客席とプール間の移動は、電光掲示板側の階段を使用すること。ダイビングプール側は使用禁止とする。
- (18) プールサイドでは、インシューズが使用できる。
- (19) プールでの練習中、レース後など、マスクを着用しない選手と会話する管理者・付添者は、マスクに加えフェイスシールドまたはアイガード・ゴーグルを着用し、目からの飛沫感染も防ぐこと。
- (20) 更衣室は、更衣のみの使用とし、ロッカーは使用できない。更衣室内を控え場所としたり、飲食をしたりすることはできない。置き荷物は忘れ物として扱い、競技会終了後に残った忘れ物は大会主催者にて処分する。また、選手以外の更衣室への立入を禁止する。
- (21) 泳ぐとき以外は、原則として常にマスクを着用すること（更衣室・招集所・観客席・プールサイド・トイレなど）。レース前に外したマスクは、服のポケットか袋に入れること（マスクは、選手イス・脱衣ボックスに直接置かない）。招集所内では、他の選手との十分な間隔をとってマスクを外することができる。
- (22) 招集所には、招集を受ける選手以外は立ち入ることはできない。選手は、招集所での選手間の会話、レース後の選手間の会話を控えること。
- (23) こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施すること。
- (24) 大きな声での会話や声を出しての応援をしないこと。ワンプバ、円陣、ハイタッチは禁止する。メガホンおよびエアホーン等の鳴り物は、持ち込んではならない（スティックバルーンは除く）。
- (25) 食事は、観客席で、人との距離を2m以上保ち個別に摂取すること。やむを得ない場合には十分な距離をとり、対面しないようにし、食事時の会話は控えること。ドリンクの回し飲みはしないこと。
- (26) 横断幕、のぼりは、持ち込んではならない。部旗は、観客席最前列の手摺に掲出できるが、大きさにより場所を限定する場合がある。掲出する際、跡が残らないようにガムテープは使用しないこと。
- (27) 競技中のフラッシュを使用した撮影は禁止する。
- (28) 自家用車での来場は禁止する。公共交通機関を利用すること。
- (29) 会場外でのミーティング等は控えること。

6. トレーナー活動について（1部校のみ）

- (1) （公財）日本水泳連盟医事委員会が定める【[トレーナー活動感染対策ガイドライン](#)】に則って行うこと。
- (2) トレーナー活動は会議室6で行うこと。室内は1校につき1区画を割り当て、マッサージベッドを1台置くことができる。観客席裏のストレッチスペースではトレーナー活動を行わないこと。
- (3) 1名の選手に対応するトレーナーは1名に固定すること。複数のトレーナーに対応することは禁止する。
- (4) 控え場所、休憩スペースとしての利用は禁止する。
- (5) トレーナー活動においては、以下の事項を遵守すること。
 - ① 常に選手・トレーナーはマスクを着用し、鼻まで覆うこと。
 - ② 選手対応前に流水、石鹸を用いた手指洗浄あるいは手指消毒（各自で準備すること）を行うこと。
 - ③ 対応中の会話は最小限とすること。
 - ④ 選手対応ごとにマッサージベッド、使用物品の消毒を行うこと。
 - ⑤ 使用済みのタオルや廃棄物はビニール袋で密封した状態とし、各チームで処理すること。

7. その他

- (1) 貴重品は厳重に管理すること。会場内で盗難が発生した場合にも当支部は責任を負わない。
- (2) マネージャー会議を毎日8:20（受付は5分前より開始）より地下1階・ロビー3にて行う。出場1日目の会議に参加する際、【参加団体同意書】の原本を持参すること。

- (3) プログラムは販売しない。当支部ホームページで確認すること。
- (4) 公式掲示板は設置しない。競技結果は当支部ホームページで確認すること。
- (5) 忘れ物は、競技会終了30分後まで保管した後に処分する。忘れ物について、会場に問い合わせないこと。
- (6) 日本水泳連盟が定めた「水泳競技会の再開に向けた感染拡大予防ガイドライン【2021年3月16日改訂版】」を順守すること。競技会主催者・施設管理者が決めたその他の措置・指示について従うこと。
- (7) 退館後10日以内に「新型コロナウイルス感染症を発症した」場合は、当支部事務局：<secretariat@swim-kansai.com>へ濃厚接触者の有無等について報告すること。
- (8) 全ての大会参加者は、大会期間中の行動を記録しておくこと。（例えば、会場内での移動場所および時間帯。さらに、スタンドや選手控え所での座席位置等）
- (9) 入場時に「入館できない条件」に該当した場合は、医師の判断を仰ぎ関係各所に連絡をする。
- (10) 会場への移動時や館内においても、熱中症には十分に留意し、こまめな水分補給を心がけること。
- (11) コロナ禍での大会開催を鑑み、居住地や宿泊地と会場の移動時、夜間の外出や食事等、感染症対策に則った行動をとること。大会終了後の帰宅途中において、懇親会等の食事を伴う会合は控えること。

8. 申込取り消し手続きについて

- (1) 以下に該当する学校は、大会への参加を認めない。(3)に従って申込取消しの手続きを行うこと。
 - ① 所属する学校が出場を許可しない場合（キャンパスや学部単位に指示された場合は該当選手のみ）。
 - ② 所属する学校単位に、来場初日から遡って7日前以降にチーム内（選手の他、マネージャーなどチームスタッフ名簿に記載した者）に感染者が確認された場合。
但し、個人単位で以下の条件を全て満たす者は、参加（入館、出場）を認める。
 - A) 所属する学校が出場を許可している
 - B) 疫学調査が完了し、濃厚接触者に指定されていない
 - C) 入館72時間以内にウイルス検査を実施し、陰性が確認されている
- (2) (1)に該当しない場合であっても、来場初日から遡って7日前以降に以下の事項に該当する者は来場を禁止する。
(3)に従って申込取消しの手続きを行うこと。
 - ① 平熱を超える発熱
 - ② 咳、のどの痛みなどの風邪の症状
 - ③ だるさ（倦怠感）や息苦しさ（呼吸困難）
 - ④ 嗅覚や味覚の異常
 - ⑤ 新型コロナウイルス感染症陽性の診断を受けた方との濃厚接触がある場合
 - ⑥ 体が重たく感じる、疲れやすい等の症状
 - ⑦ 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
 - ⑧ （本項に限り来場初日から遡って14日前以降に、）政府が入国制限・入国後の監察期間を必要とする国・地域への渡航、または当該在住者との濃厚接触がある場合
- (3) 申込締切日から大会当日までに、上記(1)、(2)に該当する理由で申込みを取り消す場合、監督または部長が当支部事務局：<secretariat@swim-kansai.com>および情報システム委員会：<info.kcsa@gmail.com>へメールで報告すること。事務局にて申込取消しに該当すると判断した場合は申込金を請求しない。
なお、本競技会への参加申込みを全て取り消した選手は、第98回日本学生選手権水泳競技大会に出場できない場合がある。要項の参加資格を確認し、必要に応じて棄権として届け出ること。

9. 資料に関する問合せ先

(公財) 日本水泳連盟学生委員会 関西支部 大会運営委員会
担当： 中道 理央 <swim.kansai@gmail.com>

以上